



## 村長さんたちのg7

5月に開催されたG7広島サミットは国際的にも大きな反響を与えました。そのG7ならぬg7というサミットがあることを最近知りました。北から南まで列島7地域の極めて小さい村が持ち回りで開いてきた会議だそうです。仕掛け人である山梨県丹波山村でNPO法人小さな村創造研究所を運営する古村幸司さんによると「G7サミットの国内候補地が盛んに報道された9年前、大国の首脳が一堂に会するように、村長が集まって共通の悩みを話し合えば、解決の糸口が見つかるのでは」とひらめいたそうです。

賛同を得たのは、北海道おといねづ音威子府村、福島県ひのえまた檜枝岐村、和歌山県北山村、岡山県新庄村、高知県大川村、熊本県いつき五木村で、初会合は2016年に丹波山村で、以降5回開催されています。

「小さい村だからできること」を合言葉に、「小さいこと」を逆手にとって情報発信していきたいと、移住の促進や公共交通の確保など、失敗例も隠さず学びあってきたそうです。イワナや緑茶など7村が特産品を持ち寄るフェアも恒例化。学生合宿や企業研修、社会貢献活動なども受け入れており、大学や企業との打ち合わせに使える拠点多く東京都内に構えました。

「g7の目標は100年後も村として存続すること。人口が100人でも楽しく暮らせることです。」と古村さんはきっぱりと言い切っておられました。小さな村々のこの心意気、大いに拍手を送りたいものです。

第一創建株式会社

代表取締役社長 田中慶太

